

2007年 3月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

平成 19 年 3 月 4 日



広報 なかわだ 第 332 号

3 月の予定

委員会	3 月 11 日
大掃除	3 月 31 日
聖堂工事 (予定)	3/12 ~ 3/23

委員会だより

△ 2月21日 (日) 10 名出席▽
連絡事項・行事計画

＊2月21日 (水) 灰の水曜日18時〜渡邊師
＊十字架の道行き2月23日 (金)〜3月30
日 (金) 高野師 (3月16日と23日は休み)
＊3月24日 (土) 黙想会・共同回心式・
南雲師・高野師

＊3月31日 (土) 大掃除・10時集合

＊4月8日 (日) 復活祭・パーティー

＊6月10日 (日) 堅信式

審議事項

(1) 信徒大会反省・

a. 大会運営・大会の流れは良かったので、
来年度も同じ方式が良い。(昨年より委
員長の司会が運営を速やかにしている。)

b. 個別事項

＊大会で月定献金の現状を説明したが、今
年度より主任司祭が常駐して頂けるの
で、光熱費等の詳細を分析し、信徒の皆
様にご理解と協力を願えるよう検討。
＊教区への司祭分担金等の質問に対して、
教区の取決めであり中和田としては特
に問題はない。その他、教区提出予算
項目と実行予算項目は、括りが出うの
で必ずしも一致はしない面がある。

(2) 07年度聖体奉仕者の募集について・

＊研修は上半期に二日間 (日曜午後)。
＊研修希望者の募集要項を作成して、
2月18日 (日) より呼びかけます。

＊資料作成は、事務Gと典礼Gで行う。
(3) 堅信式の準備・

＊教会委員長を主査とした準備チーム形成

＊チームは典礼G (竹内・行事G (石川)・
要理G (井上)・事務G (下村) の予定。
＊(鈴木神父のご指導) 具体的Gの準
備内容は、要理G・受堅者の準備教
育等 (子供達の準備教育は既に進ん
でいる。成人受堅希望者の有無を把
握し、準備教育の進め方は主任司祭
と相談)・行事G・堅信式後の梅村



馬場喜代志神父

ひとりの司祭のこと

司祭 渡邊 裕成



やすおか
昨年7月31日に、30年程長野の天竜川沿いの泰阜村でひとり過ごした大阪教
区の馬場喜代志神父さんが帰天しました。8月3日10時半、葬儀・告別式との連
絡が入り、私は出かけて行きたかったけれど、ちょうど同じ時間にとあるところ
でのミサを約束していたので、葬儀には出かけて行かず、そこでのミサの中で心
を合わせて祈りました。

私が最初に馬場神父さんを知ったのは、横浜教区の田代神父さんを通してでした。田代神父さんと馬
場神父さんとは、神学生時代同期であって、以来ふたりは親しくしていました。田代神父さんは、私
がまだ横浜教区の神学生になる前に、私が知り合った最初の横浜教区司祭で、私を見て、「あなたのよ
うなものが横浜教区司祭のすべてだと困るけれど、あなたのようなものも横浜教区司祭に必要だ」と
言い、また言い続けてくださいました。そして、「僕の同僚に馬場神父というおもしろい神父がいるから、
会いに行ってください」と薦められていました。

私が最初に馬場神父さんのところに訪問する機会を得たのは、助祭として山手教会で一年間奉仕して
いたときでした。馬場神父さんは、外の仕事としてはただひとつ、裾野の聖心女学園での黙想を受け
ていて、その帰りに寿町にあるシャロームの家の原木さんのところに寄って、一度こちらに来てみな
いかと誘っていったとのこと、私がシャロームに立ち寄ったとき、今度いついつに、馬場神父のと
ころへ行くという話があって、それなら私も一緒に連れてってもらうことにしたのです。

それ以来何回か、馬場神父さんのところに会いに行きましたが、行く度に何か学ぶところがあつたな
と思い返しています。あるときは、こんな話をしてくれました。「おれは、ここで、ひとりでミサを奉
げているけれども、大地のミサを奉げている、大地を通して一切とつながっているミサを。大地とい
うのは、生きとし生けるものが己を奉げきって帰っていったところで、いのちのお奉げの歴史が積み
重なりそこにある。おれは、百姓をすることを通して大地とつながり、一切とつながる中で、日々ミ
サをささげている。」

私は馬場神父さんが泰阜村に住むようになった経緯には詳しくないのですが、田口枢機卿に大阪教区
から追い出され、縁あって泰阜村に住み着き、しかし、最初は村人はなかなかよそ者は受け入れない、
しかもカトリック司祭などというのはよけい受け入れなかったそうで、でも田口枢機卿から司祭職停
止処分を受けていたのだけれど、それがかえってよく、ただひとりの人間として村人の中へ入って行
くことができ、20年そこに住み続け、ようやく村人のひとりになったそうです。

馬場神父さんは、村人の生活の厳しさを、ときどき語り聞かせてくれました。村ではあまり農作物
はできず、戦前は赤貧のため多くの村人が満州へ開拓民としてでかけ、その中でも泰阜村からの人々
は底辺の生活を強いられ、戦後、満州に残ったものも泰阜村に戻ってきたものも厳しい生活が続いた。
しかし、そんなことは日本の中ではほとんど顧みられてこなかった。そういう誰からも顧みられずに
厳しい生活の中にある村に、村人のひとりとして司祭が暮らしていることは、意味あることだと思
うのだけれども、皆わからんのだなあ、とつぶやいていました。

司教との分ち合い準備・典礼G・堅
信式次第の検討・事務G・事前準備、
当日スケジュール等を司教館と調整
＊第一回準備チーム打合せ2月25日 (日)
各グループ連絡・報告事項
(1) 営繕G (聖堂内装整備工事)
＊工事予定は3月12日 (月)〜3月23日
(金) (3月18日 (日) は、新集会室でミ
サ実施) 会場が狭いので、他教会へ
行ける方をお願い致します。
(2) 典礼G (2月度典礼委員会報告)
＊灰の水曜日の典礼奉仕者決定。聖週
間典礼奉仕者は一般公募等で依頼。
(3) 行事G (バザー準備を開始)
＊バザーの規模・内容は昨年同様とする。
(06年11月委員会での反省審議結果)
＊バザー収益は例年殆ど建設資金に充当
しているが、福祉関係への寄付も増や
してはとの意見あり、福祉Gも活動準
備を開始、時間を掛けて検討。
＊バザーの目的・内容等を行事Gで詰め、
バザー委員会に提案、その後委員会報告
(4) 広報G (教会内掲示板利用方法)
＊掲示板利用は・廊下より見て・左三
分の一は「中和田教会関係」(担当・
事務G)・中央三分の一は「横浜教区」
(担当・広報G)・右三分の一は「そ
の他」(担当・広報G)・表門入口脇
掲示板は(担当・宣教G)とする。貼
付面が一杯の時は、各Gで調整。
＊教会委員の変更に伴い「連絡網」を
見直し。一部修正後、後日皆様に配布。
(5) 宣教・要理G (行事予定他)
＊07年度要理G行事計画を3月に報告。
＊予算運営についても、昨年度の実績
報告と今年度予算の計画を、3月委
員会で報告する。

＊子供達の「救しの秘跡」3月18日 (日)。
(6) 福祉G
＊第五地区「福祉関係打合せ」に参加。
(7) 事務G

06年2月委員会後記 小野委員長

■6月10日に堅信式が行われます

既にご案内の通り、6月10日に梅村司教
様をお迎えして堅信式が行われます。
受堅希望者の方々は掲示されている申込
用紙にお名前を4月1日までに記入頂き
ますようお願い申し上げます。(要理学
校に登録されている皆様は、既に委員会
で掌握しておりますので記入不要です。)

■研修・養成コースに参加しましょう

既にご案内の通り、本年度も色々な研修・
養成コースが共同宣教司牧推進委員会
の主導で開催されます。言うまでもありま
せんが、我々信徒の最大の使命の一つは
「宣教」です。皆様是非この機会を積極
的に活用されるようお願い致します。

◎年間第4主日(1/28)の共同祈願(再
録)・・・「宣教の使命にあずかるわたし
たちを強めてください。困難にくじけず、
喜びをもってキリストの福音をのべ伝え
ることができるようになりますように。」

■聖体奉仕者になってください
これも既にご案内の通り、教会では聖体
奉仕者として信徒の皆様が参画されるこ
とをお願いしております。

聖体奉仕者による奉仕は次の通りです。
・主日ミサに来られない信徒のため、聖
体をお届けして拝領させる奉仕
・司祭不在時の集会祭儀で聖体拝領奉仕
・参列者の多いミサ時に、司祭と共に聖
体拝領の奉仕
詳細は掲示板にあり、またご案内のリー
フレットを用意しております。(「広報
なかわだ」06年6月号もご参照下さい。)

■中和田教会の財政状態
1月28日の信徒大会で、06年度決算と07
年度予算編成の内容について財務委員よ
り信徒の皆様にご説明しました。

●皆様のご協力で、多くの節約が為され
て参りましたが、月定献金につきまし
ては更なるご協力が必要な状況をご理
解頂けたと思います。本件は昨年度も
色々な形でお願ひしておりますが、重
ねてご協力のほどお願い申し上げます。

●他方、予算計画に基づき教会運営、活
動はしっかり実行されねばなりません。
せっかく計上された予算が活用されず活
動そのものが低迷することとは教会運営の
根幹に関わる問題ともなり避けねばなり
ません。皆様の尊い献金を漏れなく活か
し教会運営を実現する視点からも、皆様
のご協力をお願い申し上げます。

■3月、4月には色々な行事が集中します
既にご案内の通り、ご復活の主日を期し
て、神父様方の異動が予定されておりま
す。大変お世話になった神父様方へ我々
信徒の感謝の気持ちを表す場を計画して
おります。段取りは決定次第ご案内しま
すので、皆様のご参加をお願い致します。
また、聖堂内装工事が3月12日から23日
に行われ、信徒各位にはご不便をおかけ
しますが、何卒ご理解の程お願い申し上
げます。(3月18日の主日ミサは新集会
室1Fで行いますが、収容人数が限られる
為、可能な限り近隣の教会にてミサに与
かって頂くことをお願い申し上げます。)

最後に会ったのは、帰天する一年程前のころ、そのころ「おれが、ここ泰阜村に来るようになったわけがようやくわかった」と何度も繰り返していました。日本の教会の戦争責任に関する記事に触れ、田口司教も戦争に協力し、占領地に司祭を派遣したりしていることを知り、すべてがほぐれるように腑に落ちたようでした。「おれは田口のおやじに追い出されて泰阜村へやってくるようになったけれども、戦中戦後、日本の中で最も厳しい生活を強いられ、あの戦争の犠牲となった泰阜村の村人のひとりになって、村人とその苦しみを共にすることによって、それでここで、田口のおやじのいわば子であるおれが、田口のおやじの戦争責任を償うために、神がおれをここに運んだのだ。」

人にはあまり知られずに、その司祭職を全うした馬場神父のことを、何かの折に書いておきたいと思いました。これは、藤沢の広報・八角形ニュースにも載せたものですが、中和田・広報にも転載させていただきます。



山崎神父様の一周忌を偲ぶ

清水 聖

書齋のテーブルの上に、神父様のお写真が置いてあります。穏やかで、柔和な、今までにない良い笑顔、「神父様オハヨー」が、私の一日の始まりの挨拶。勿論、老老の身、急ぎの用事もなくゆったりとスタートしています。

神父様の一周忌（平成十八年三月七日）が近づき、何か心にあるものを書きたいものと。奇しくも、私の親父（昭和三十二年三月七日）の命日が一緒、何かご縁があるのかと思いました。色々の思いがありました。幾つかの心残りも思い出されます。

神父様は、お付き合いが広く、先輩、知人、友人、大勢の信徒と、お出しくなる年賀状は、五百から六百枚近くになります。北は北海道、南は九州、外国はありませんでしたが、宛名書きを、平成八年から平成十四年までお手伝いさせて頂きました。七年間、もう一寸で十年の記録ができたのと思いました。（色々とおエピソードがありましたが、省略させて頂きます。）

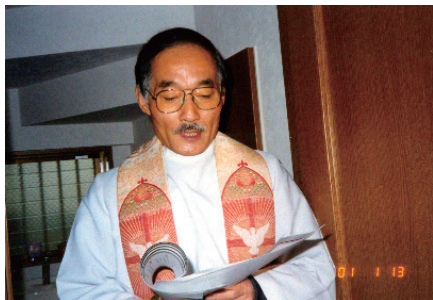


膨大な神父様のご蔵書の整理を委員会より指名を受けました。Oさんと取り組みました。正直大変困りました。後任の神父様の住居の関係もあり、どの部屋の物入れ、押入の中、空間にも、食堂、事務所、集会室、新集会室、倉庫にも本だらけ。Oさんの尽力で、横浜で一番の古籍商、信徒の皆様のお買い上げ、その他は「スクラップ」として処理、信徒の皆様のご奉仕で現在の姿にやっとなりました。時に神父様の夢をみる事があります。スクラップ処理になった本の中には、貴重品というか、神父様の愛したものがあつたのではないかと、これも心残りの一つであります。

私ごとですが、平成十二年三月三十日、お天気も上々、私の新住居の地鎮祭を神父様の調子が悪いのに引き受けて下さいまして、祝別して頂きました。翌年一月十三日お近付きの森田神父様に落成の祝別を授けて頂きました。新居に山崎神父様をお招きして一席を設ける予定でおりましたが、神父様のアクシデント、機会に恵まれず、幾度かのお誘いをしましたが、流れてしまいました。これも心残りの一つでございます。

神父様のお顔を思い出しながらこの散文を綴りました。神父様、安らかに、ご機嫌よう。

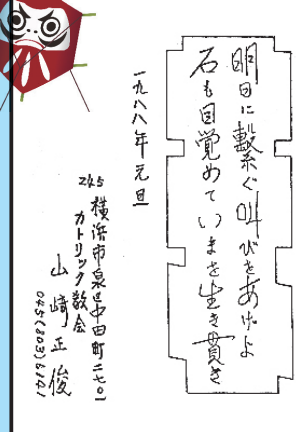
平成十九年一月二十五日 記



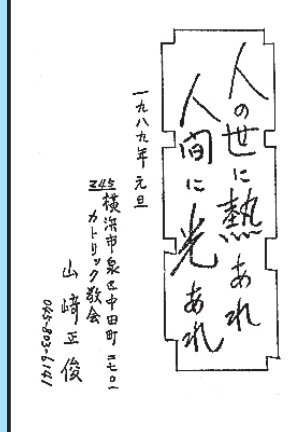
山崎神父様の年賀状の数々（1988年～2002年）（清水さん御提供）



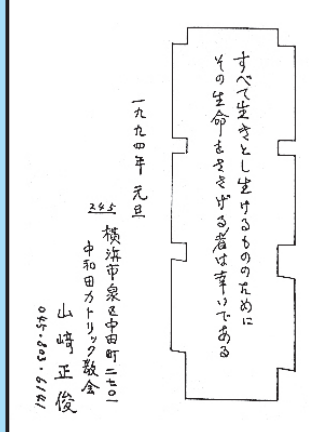
1988年（昭和63年）



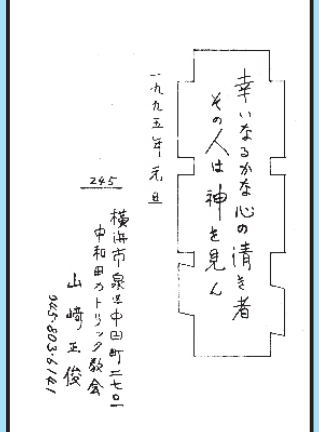
1989年～1993年



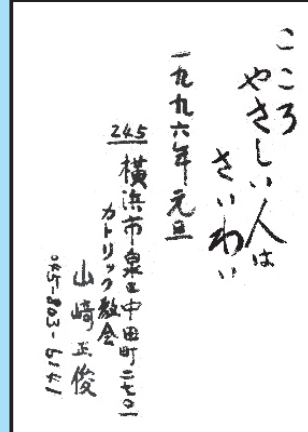
1994年（平成6年）



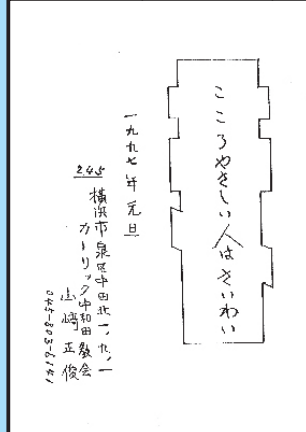
1995年（平成7年）



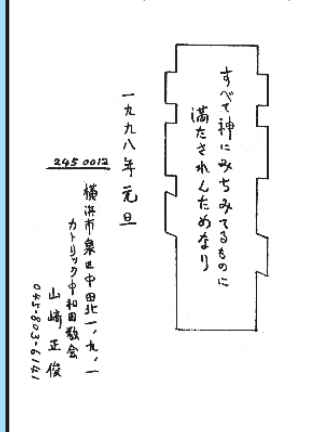
1996年（平成8年）



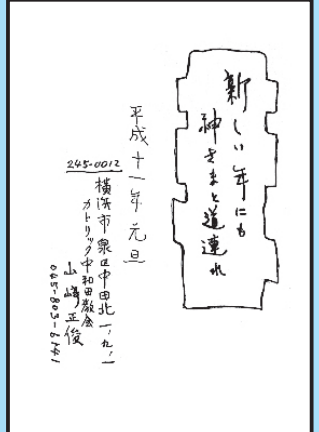
1997年（平成9年）



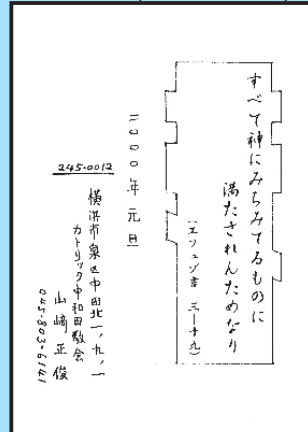
1998年（平成10年）



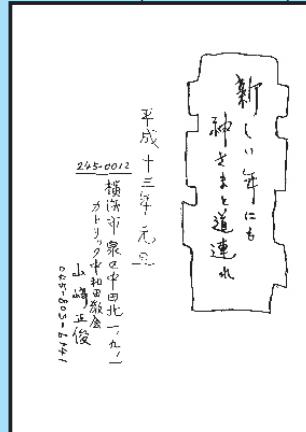
1999年（平成11年）



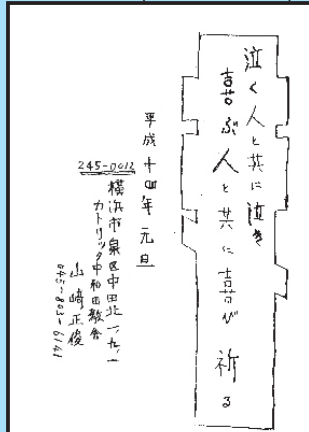
2000年（平成12年）



2001年（平成13年）



2002年（平成14年）



お知らせ

※ 転出：
永田麻里さん
戸塚教会へ

※ 3月4日要理学校
で芋の苗付けを行
います。

ヨゼフ会だより

△ 1月21日（日）11名出席 △

■ 06年度活動実績報告／07年活動計画案説明

■ 06年度会計監査： 監査人は山田さんをお願いし、問題無きこと確認された旨報告

■ 07年度幹事選出

◆ 出席全員一致して、鶴田恒之氏をヨゼフ会代表幹事に選出

◆ 鶴田氏より、会員の協力、とくに書記、会計に関する協力要請があった（注：会終了後、書記関連を美底昭司氏にお願いし、ご快諾頂いた）

■ ヨゼフ会運営指針に関する議論

◆ ヨゼフ会の位置付け、会費、サロンド運営などについて議論

★ 以上で総会を終了して新年会に移り、ご婦人の方の参加も得て楽しい一時を過ごしました（22名）

△ 2月19日（日）▽



【今後のイベントについて】

1. 春のハイキング予定

4月頃に城ヶ島あたりのコースを検討しており、決定次第ご案内致します。

2. 黙想会について

鎌倉雪の下、町田にて行うことを検討中ですが、詳細につきましては小林神父様がお見えになつてから、ご相談し決定して行く。

3. 神父様への感謝について

4月8日の復活祭ミサ後のパーティーにおいて、新しく赴任される小林主任司祭の歓迎と鈴木神父様、渡邊神父様、高野神父様への感謝会を行うことを予定。